

## 事業実施報告書

事業名 助けてといえる場所 子育て支援型コミュニティカフェ「元気スタンド・ぷれ  
いす」

### 1 事業の目的

少子化や核家族化が進み社会的孤立をしやすい社会環境であり、子育てにおける不安が高まることで虐待や育児放棄、いじめなど子どもにも親にも悪影響を及ぼすことが考えられる。単発型の居場所ではなく、いつでも気軽に立ち寄ることが出来、不安を解消できる居場所が必要であると考えます。

昨年度までの実績で海外からの移住者の孤立等にも着目し、多種多様な方々が楽しみながら交流できる環境づくりに向けた取り組みも併せて行う。

### 2 事業内容

#### (1) 事業の概要

- ・シャッター商店街と化した店舗を活用し、常設型の子どもと親の居場所を作る。
- ・参加するだけでなく、自分のやりたい事をワンデーシェフやワークショップの主催者として自己実現をすることにより生きがいを創出する。
- ・子どもから高齢者までが交流し世代間交流を図るが、居場所としては別々。
- ・子供食堂的なコミュニティ食堂「ダンチでランチ」を開催し、無料にて食材や食品の提供を行う。
- ・子どもの一時預かりを行い、親の負担を軽減させる。
- ・放課後に子供達が自由に集まれる場所の提供や学習支援環境整備。

#### (2) 事業の流れ

- ・近隣大学の学生さんによる家具づくり。(商品棚、学習机、黒板、授乳室)



#### ・主な催し

名称	内容	回数	参加者数
----	----	----	------

ダンチでランチ	食材、弁当の配布	19	1027人
ゆみ'sキッチン	カフェ	約150	約1800人
Calu.hi	アクセサリ販売、カフェ	約30	約600人
ワタシの日	多種合同イベント	16	約800人
Sweets day	菓子合同イベント	2	約200人
アイブイの極楽マッサージ	マッサージ	23	約200人
きみどりさんの足もみ	マッサージ	4	約50人
竹ちゃんのもみほぐし	マッサージ	21	約100人
Kiyo's sweets	シフォンケーキの製造販売	32	約1000人
CANVA レッスン	チラシの作成指導	24	約200人
消しゴムハンコ	作品作製指導	8	約200人
写真を飾ろう	スクラップブックング	4	約100人
わたぼうし	放課後見守り	約80	約1000人

※「わたしの日」「sweets day」は、主催している人同士が一緒になって行うイベントが始まったり、主催者通しの連携も活発になった。

- ・キッズカーニバル（子ども店長と、各主催者によるマルシェ）  
2023年9月24日開催 参加人数 約300人
- ・世界ダンス巡り（キッズダンスとサンバ、フラメンコなど世界の踊り披露）  
2023年9月24日開催 参加人数 約300人
- ・海外旅行気分屋台（外国籍の方による自国の料理販売を、その国の言葉で注文。  
2023年9月24日開催 出店数2店分 参加人数 約100人
- ・子育て応援まつりでの電動車いすでエレクトリカルパレード  
2023年12月10日開催 参加者 約30人
- ・新春イベント（コミュニティ食堂ダンチでランチと、各主催者によるマルシェ）  
2024年1月4日開催 参加人数 約200人



### (3) 連携・協力機関

日本工業大学（内装デザイン、家具作製）

ハッピーマザーズ（ワークショップ、ワンデーシェフ）

コミュニティ食堂 ダンチでランチ（子供食堂運営）

埼玉県子供食堂ネットワーク（子供食堂の食材）

幸手市子育て支援課（フードドライブの食品提供）

幸手市子育てネットワーク

幸手看護専門学校、日本保健医療大学、日本赤十字看護大学さいたま校（実習）

### 3 成果及び今後の展開

- ・今まで行ってきたワークショップやワンデーシェフや、コミュニティ食堂の主催者やスタッフの横のつながりが広がり、合同のイベントが様々な形で行われるようになった。
- ・ワークショップやワンデーシェフの後、子供たちの放課後の居場所として開放できるよう見守り活動が開始。学校帰りの子供たちが安心して遊びに来られる場所として活用できるようになった。
- ・コミュニティ食堂「ダンチでランチ」でコロナが5類に移行したことを受け弁当の配布から会食式に変更した所利用者が激減。持ち帰りを選べるようにした。
- ・コミュニティ食堂「ダンチでランチ」の運営をリーダーとスタッフに託し、自立して更に活動が活発化した。企業様とのコラボ企画や、周辺子ども食堂との連携、地元農家さんからのご協力を頂けるようになっている。
- ・子供たちに食事の支援や、ケアラーなどの生活支援が行える「みらいファンド」に対して定期的に寄付することを喜びにされる方も現れ、この意義について更に広めたい。
- ・昨年に続き子育て応援まつりで電動車いすによるエレクトリカルパレードを実施。昨年の参加者が楽しみにしてくれ、今回は3歳の子も乗車。電動車いすの簡単さ、安全性のアピールを楽しく行うことが出来た。
- ・学習支援の机が完成し、オンラインで利用できるよう環境を整備。勉強を教えてくれる人を増やしたい。
- ・外国籍の方も積極的に声をかけ、コミュニティ食堂や放課後の利用を促した。また地域の方との交流を促すように挨拶の仕方を伝える海外旅行気分屋台を実施。定期的に開催し出店国を増やしていきたいと思う。